

公的研究費の適正管理と不正対応

～内部統制の確立や不正防止のポイントを解説～

〈日 時〉 2022年11月8日(火) 13:00～17:00 (4H)

〈主 催〉  一般社団法人 日本経営協会

〈講 師〉 有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 武市 歩 氏

〈申込締切〉 10月26日まで

公的研究費の管理・監査のガイドラインが改正され、各法人においても、体制整備・運用の状況が整ってきていますが、適正な管理は定着が困難な部分も多くあります。公的研究費の不正は少額であっても、ペナルティの対象となり、組織のブランドイメージに影響を与えてしまいます。また、不正行為者だけではなく、研究機関も処分を受け、他の研究者の研究予算に影響が与える可能性があります。

そこで、本講座では不正行為防止のための体制整備や内部統制、ガイドラインのポイント等を解説し、ケーススタディによる検討も行います。

プログラム		講師紹介
I. 内部統制確立の必要性 1. 組織ブランドの重要性 2. 不祥事発生による影響 3. 制度対応などの動き 4. 内部統制とは II. 内部統制定着のためのポイント 1. 管理責任の明確化 2. 実質的な組織運営のために 3. コンプライアンス教育・浸透 4. 自ら考える研修の実施 5. マネジメントサイクルの導入 6. CSAの導入 7. モニタリングの役割 8. リスクマネジメント視点でのモニタリング 9. 監査計画の策定と監査要点の設定 III. 不正に関する基礎知識 1. 組織の中における不正	2. 不正のトライアングル 3. 研究機関の特質 (仮説) 4. 研究費不正の種類 IV. ガイドライン改定の背景 1. 多数の不正事例の発生 2. ガイドライン改訂の必要性 V. ガイドラインのポイント 1. 不正を事前に防止するための取組 2. 組織の管理責任・ルールの明確化 3. 研究者個人に対する措置の重罰化 4. 国による監視と支援 5. 従来ガイドラインからの明確化・具体化 VI. ケーススタディによる検討 VII. まとめと質疑応答 ※過去の監査計画をご準備いただくと講義内容の照らし合わせに効果的です。	有限責任監査法人 トーマツ 公認会計士 武市 歩 氏 平成20年有限責任監査法人トーマツ大阪事務所に入所。平成25年公認会計士登録。入所後は、大阪・京都を中心とした民間企業、学校法人、公益法人等の会計監査業務に従事するとともに、大学統合コンサルティング、学校法人会計セミナーや公的研究費の管理に関する研修講師を務める。

申 込 要 領

〈参加料〉 1名につき 本会会員 30,800円 一般 38,500円 (消費税込)

* 講座のテキスト資料到着後 (約開催 5 営業日前) のキャンセルについては、参加料の100%を申し受けます。なお、当日までにご連絡なく欠席の場合も100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。


〈受講要領〉

- ・本セミナーはZoomウェビナー形式ですので、**カメラ・マイク不要です。**
- ・本会ホームページ上で【WEB申込】をお願いします。
- ・追って、参加券、請求書、Zoomでの受講要領をお送りいたします。
- ・資料は開催の1週間前、視聴URLは3営業日前を目途にお送りいたします。

〈留意事項〉

- * 視聴URLはセミナー参加者のみ利用可能とし、再配布・複数名での視聴を禁止いたします。
- * 著作権保護の観点から、セミナーの録音・録画や資料の複製は固くお断りいたします。
- * Zoom接続環境 (パソコン、有線およびWi-Fiのインターネット回線を推奨) をご準備ください。
- * ネット回線・システムトラブル等による視聴の遅滞・中断等について、返金できかねますのでご了承ください。

WEB申込の方法

- 1 当協会ホームページにアクセス
<https://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「NOMA 公開セミナー/行政管理講座 検索画面」をクリック

- 4 フリーワード欄に講座名の一部を入力して検索
- 5 お申込み講座のページを開いて、そのページ内でWEB申込

〈お問合せ先〉 一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ (原) E-mail yu-hara@noma.or.jp

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 TEL 06-6443-6962 (直通)